

報道機関各位

熊本大学

熊本大学学術資料調査研究推進室公開講演会
ラフカディオ・ハーン『東の国から』
発刊120年記念シンポジウムを開催します

ラフカディオ・ハーンは19歳の時、移民船でニューヨークに着き、アメリカ合衆国で主にジャーナリストとして活躍し、約20年後、来日。第1作の『知られざる日本の面影』(1894)はハーンの熊本滞在中に刊行され、第2作となる『東の国から』(1895)は、熊本滞在中(1891.11-1894.10)に取材・見聞・体験したものが中心的内容となっています。

ハーンの日本理解が更に深まり、日本と西洋の優れた比較文化論的作品になっていると言われます。『東の国から』は熊本を舞台とした「夏の日の夢」「九州の学生とともに」「永遠の女性」「生と死の断片」「石仏」「柔術」「願望成就」など多くの名作が入っていますが、本シンポジウムは、この中のいずれかの作品に基づいて論じられます。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材をよろしく願いいたします。

記

- 【パネリスト】◇永尾 悟 「永遠の女性」と英文学の女性像
◇西槇 偉 ハーンと豊子愷を比較して読む
—「九州の学生と共に」における師弟関係を手がかりに
◇濱田 明 「柔術」にみる東洋と西洋
◇西川 盛雄 「石仏」にみる東洋と西洋の比較
進行係 福澤 清

【日時】平成27年11月19日(木) 14:30~16:00

【場所】熊本大学附属図書館(中央館)1階(熊本市中央区黒髪2丁目40番1号)

【対象】一般市民(興味があるかたはどなたでも)

【参加費】無料。事前申込の必要はありません。

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/news/1711>

【お問い合わせ先】

熊本大学附属図書館

担当：濱崎

TEL：096-342-2212

熊本大学学術資料調査研究推進室

ラフカディオ・ハーン

「東の国から」

発刊 120 年記念シンポジウム

ラフカディオ・ハーンは19歳の時、移民船でニューヨークに着き、アメリカ合衆国で主にジャーナリストとして活躍。約20年後、来日。第1作の『知られざる日本の面影』(1894)はハーンの熊本滞在中に刊行される。第2作となる『東の国から』(1895)は、熊本滞在中(1891. 11-1894. 10)に取材・見聞・体験したものが中心的内容となっています。

ハーンの日本理解が更に深まり、日本と西洋の優れた比較文化論的作品になっていると言われます。好評だったようで、たちまち版を重ねております。

『東の国から』は熊本を舞台とした「夏の日々の夢」「九州の学生とともに」「永遠の女性」「生と死の断片」「石仏」「柔術」「願望成就」など多くの名作が入っていますが、本シンポジウムは、この中のいずれかの作品に基づいて論じられます。

日 時：平成27年11月19日(木)

14:30～16:00

場 所：熊本大学附属図書館(中央館)1階

入場無料

- <パネリスト>
- ◇永尾 悟 「永遠の女性」と英文学の女性像
 - ◇西横 偉 ハーンと豊子愷を比較して読む
—「九州の学生と共に」における師弟関係を手がかりに
 - ◇濱田 明 「柔術」にみる東洋と西洋
 - ◇西川 盛雄 「石仏」にみる東洋と西洋の比較

進行係 福澤 清

【主催】熊本大学附属図書館
熊本大学学術資料調査研究推進室